

出題意図と評価の観点

問1：大規模言語モデルを使った AI システムを用いるとき、どのような『人』として付き合う」(下線部_(a)) ができるだろうか。本文に即して説明しなさい。(100 字以内)

出題意図および評価の観点

本文の主旨を踏まえ、提示された情報を選択し、字数内で適切に表現できるかを問う。

問2：本文中の「人間と AI が共存し、互いに学び合い、新しい世界を築く」(下線部_(b)) ために学校や教師に求められる役割とは何か。あなたの考えを述べなさい。(600 字以上 1000 字以内)

出題意図

本文の内容を踏まえ、受験生が自らの考えを論理的に説明できるかを問う。

2020 年度にスタートした「新しい学習指導要領」(小学校：2020 年度～ 中学校：2021 年度～ 高等学校：2022 年度～ 特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施)の主題は「生きる力 学びの、その先へ」であり、絶えず変化し多様化する社会において、学校教育は「生きる力」を育むことを主題としている。

新たな技術は、人々の意思にかかわらず次第に普及していくものである。こうした技術について、周囲の人々と共に考え、学び、その技術を前提とした自身の役割について考えていくことも、教育に携わる教師に求められる重要な資質の一つである。広い視野と柔軟な思考で社会の進歩を捉え、教師としての自身の役割について問い直してゆくことは、「子どもの発達に対する援助者、文化の確かな伝達者として子どもや自分自身への可能性を高めることに力を発揮できる人」を求めるという教育学部アドミッションポリシーとも一致する。

評価の観点

- ・「人と AI が共存し、互いに学び合い、新しい世界を築く」ために、学校や教師としてどのように対応していくかについて自身の意見が述べられているか。
- ・さらに、教育学部アドミッションポリシーの観点をもとに評価を行う。